

株式会社キミカ

創業50年を機に“第二の創業”を期して、 「海の恵み海藻」をシンボライズ

私が実質的な経営を担う常務に就任した1989年、改めて創業の意気に燃えた若々しい会社に生まれ変わらせようと「第二創業計画」を実施しました。それを機に天然海藻を有効利用するアルギン酸事業で“ベスト・イン・ザ・ワールド”を目指す経営方針を明確化、そのシンボルとして採用したのがこのロゴマークです。波しうきを表す水滴の中に、揺らめく海藻を表現する三本の線が右肩上がりで伸びています。



株式会社キミカ
代表取締役社長

笠原 文善さん

創業から50年を経て、わが社も成熟期から衰退期へ向かっているように感じました。なんとかして新生の息吹を吹き込み、チャレンジングな会社に蘇らせよう必死に取り組んだ日々のことを思い起こさせるマークです。

もっと教えて！

初期のロゴは、世界市場に出てゆこうとの意気込みから、日本の象徴である富士山に、当時の社名「君津化学工業」の頭文字から“KKK”を配したもので、米国の白人至上主義団体を想起させると海外での使用は憚られていきました。ロゴを一新し、世界中でアピールできるようになりました。

